

東京2020オリンピック・パラリンピック競技体験



車椅子バスケット

一人での体験だったので、車椅子の操作もバスケットも難しくなかったけれど、これが相手のいる試合だと思くと大変だと思いました。(里菜)

ブレーキをかけるのに思ったより力が必要で、何回も壁にぶつけてしまいました。プロの方は腕も鍛えているのだなと思いました。両手でボールを持っているため、ブレーキがかけれず、動いた状態の車椅子からシュートをするのはとても難しかったです。(慧理那)

バスケットなのでいけるかな、と思いましたが、思いどおりにはいかなくて悔しかったです。(理紗)

車椅子に座ってゴールに投げるのは、思った以上に難しく、車椅子での移動もかなりの筋力と体力が必要だなと思いました。また、タイヤの形が独特で車椅子に乗りにくかったです。(優菜)

VRフェンシング

音が凄くリアルで、視覚も本当に自分がフェンシングをしているような感じで面白かったです。体験する際に持った棒は少し重く感じました。(優菜)

勝ち負けの区別が分かりにくかったけれど、面白かったです。(里菜)

本当に目の前に人がいるみたいだった。今までにないような体験でビックリしました。(理紗)

ポッチャ

ボールが意外に重く、あまり投げたいところには投げられなかったです。(理紗)

29 思っていたよりもボールが重く、転がりやすかったです。また、バウンドする性質もあるようで、少し跳びました。(優菜)

とてもルールがシンプルで数回チャレンジしただけで競技を楽しむことができました。どんな人でも参加しやすい競技だと思いました。(里菜)

義足体験

今までの足の感覚とは違い、思う通りに動かなかったです。(理紗)

片方の足に義足を着けたので、両足の長さが違ってしまっ歩きにくかったです。体験するなら両足を着けてみたかったです。(里菜)

本当は両足に着けて体験できましたが、高さが増してバランスが取りにくく、怖かったので片足だけにしました。感覚としては、竹馬に乗るような感じでした。(優菜)

第2部の体育館では、恒例のブースのほか、東京2020オリンピック・パラリンピックで行われる競技や、義足体験ができるコーナーもあって盛り上がりしていました。

その他、Nゲージのコーナーをはじめ、レモネードスタンド、福祉工房の製品販売、子ども食堂、ワークショップのお着づくりなどの体験コーナーや展示コーナーがありました。

東京五輪音頭-2020-

東京五輪音頭-2020-を、フィナーレでみんなで踊りました。



編集員の内山くんが目黒学院中学・高等学校 合気道愛好会の合気道の演武に登場!! 迫力ある演武にみんな見入っていました。



目黒学院中学・高等学校 鉄道研究同好会のNゲージコーナー。

はみだし図鑑 目黒の自然 冬



名称: 中根公園の坂
場所: 中根公園 (中根2丁目6-33)
特徴: 昔は「岡田の森」と呼ばれ地域の方に親しまれた場所です。
感想: 都会のど真ん中なのに、森の中にいる気分になりました。(倉嶋)

歴代の「めぐろ」バックナンバーも揃えた「めぐろ」ブースも健在。

今年は、前半戦がホールで演奏やダンスの発表、後半戦は体育館にて各ブースでゲームや体験コーナーを行いました。

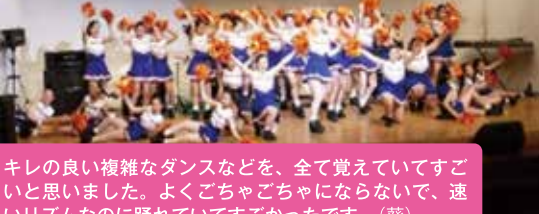
ジャパニーズスタイル Japanese Style (都立国際高等学校)



笛や三味線、琴はすごく繊細で、和太鼓は迫力があってとても魅力的でした。特にパチ回しがカッコ良かったです。(綾) 太鼓はとても迫力があり、琴も弦を押したり引き上げたりして、Japanese Style の演奏がすごかった。みんなリズムに乗っていて、ソロもとても上手にできていた!! (葵) キレイな和風の音、ダイナミックな太鼓のサウンド、思わず釘付けになってしまう。振動で、心まで響いた。(理紗)

トキワ松学園ダンス部 (トキワ松学園中学校高等学校)

午前の部では、中等部のみなさんだけのダンスでした!! チアダンスって可愛いですね!(彩菜)



キレイの良い複雑なダンスなどを、全て覚えていてすごいと思いました。よくごちゃごちゃにならないで、速いリズムなのに踊れているのがすごかったです。(葵) 一人ひとりの踊りが全員に合っていてキレイだった。違和感がない。あいさつの時も揃っていた。(理紗) 可愛いだけでなく、キレイのあるダンスでカッコ良かったです。(綾)

目黒中央中学校生徒会による災害用トイレ組み立ての実演の様子。

「Praid」のボーカルとドラムの二人も売り子に。



△地域防災コーナーと災害用トイレ紹介。

▲バンド出演メンバーも、午後は体育館で福祉工房の製品販売のお手伝い。

参加団体がホールに集まり、舞台上に立ち、自分たちのコーナーを紹介。「めぐろ」は編集長を中心にみんなで話しました。

オープニングあいさつ

中高生が作るタウン誌「めぐろ」の編集員です。今年もティーンズ・フェスタに邪魔しています! 今年のテーマは「知ろう、探ろう ○○ろろ」で、記事作成に取り組んでいます。また、今回も去年に引き続き、「究極の二択」アンケートの取材もさせていただきます。それにあたって、みなさんの楽しんでいる様子を写真に撮り、一部掲載させていただくことがあります。よろしくお願ひします。午後は体育館で展示を行います。ぜひ、お越しください。以上、「めぐろ」からでした。



バンド演奏

「VILLAINS」

可愛いらしい声が印象的でした。キーボードの子が上手かったです。(綾) 始めたばかりなのにたくさん覚えていて、リズムを間違えることがなかった!! (葵) 声の伸びが良く、とても初心者とは思えない演奏。制服も好き。怖いぐらいの上手さ。温かい目で見なくてもヤバイ。(理紗)

「RILAC」

ボーカルの芯の通った声が魅力的だと思いました。ギターの子のブリッジミュート良かったです。(綾) 4人で演奏していたが、とても迫力のある音楽だった! 1・2・3・4!! 後でドラムやギターもすごく鳴っていた! なんかカッコいい~v(≧▽≦)v (葵) ダイナミック。激しい感じの雰囲気。聞いているだけで熱くなる。英語の歌詞、自分の中では「初ライブなの?」と疑う。音は本当に振動なのだ良かった。(理紗)

「珈琲ごはん」

ボーカルの子が動いているのがすごく良かったです。4人の息が合っていて素敵な演奏でした! (綾) 初めてで緊張しているのに、ここまで出し切れるのがすごい! (葵) ボーカルと演奏者が息ぴったり。大きなサウンドと伸びのある響き声がとても合っていると思う。楽器の色と制服が合っていて、(個人的に)見た目も大好き。(理紗)